

Kins University Press, Baltimore, 1971.

【編著書】 McC. Brooks, Ch. and Levey, H.A.: *Humorally-Transported Integrators of Body Function and the Development of Endocrinology*. 183—238 in McC. Brooks, Ch. and Cranefield, P.F. (eds.): *The Historical Development of Physiological Thought*. Hafner, New York, 1959.

六 投稿原稿は、コピーを一部添付すること。原稿は著者校正の際も原則として返却しないので、手元にコピーを一部残すこと。

七 著者校正は、原則として原著・総説・研究ノート・広場・資料を対象とし、初校のみとする。校正は印刷上の誤植を訂正するに留め、原稿の変更や、その他の組み替えは認めない。校正刷りの返送期日を厳守すること。期日までに返却されない場合は責とみなす。

八 刷り上り一〇印刷ページ(四〇〇字詰原稿用紙で二四枚)までは原則として無料とし、超過分と図表製版の実費は著者負担とする。

九 論文別刷は五〇部単位とし実費で作製する。別刷希望者は校正刷同封の申込書に部数を明記すること。

一〇 原稿の送り先

千一一三 東京都文京区本郷二丁目一一一

順天堂大学医学部医史学研究室内

日本医史学雑誌編集委員会

編集後記

▼本誌編集委員会は月一回開かれ、委員長以下一同、知恵を絞って内容の充実化と諸会員の御要望に添うべく誌面作りに尽力しているつもりである。しかし必ずしも御満足いただけぬむきもあるようで、様々の考え方が会員諸氏の間には存在し、それらに円滑に因應することがいかにかむつかしいか、このところとくに痛切に感じている。▼原著および研究ノートに関しては「編集委員会の委嘱する審査委員が査読」する規定になっており(投稿規定)、厳正を期すため編集委員以外から審査委員を選ぶのが原則である。編集委員は熟慮し総意のもとに会員の中から最適任と考えられる審査委員を選出する。であるから査読結果は尊重する。ただ、投稿者が査読者の意見に承服しがたく、理をもって自論を主張された場合は、再度別の審査委員を選んで査読を委嘱し、さらなる公正を期する例外的なケースもある。投稿論文の採否に関しては以上のようなシステムをとっていることを御理解願いたい。▼主としては査読者の示唆に従っての加除変更のためであるが、初投稿、再投稿を経て正式受理(掲載決定)までに相当な期間を費す場合もある。従来は掲載論文の首に受付年月日を記載してきたが、これは初投稿すなわち学会が初めに郵便物を受けとった日付であり、その後の経緯によって生じた各論文の掲載時期の差について疑念をもたれる危惧もある。そこで本号からは受付(Received)と受理(Accepted for publication)の日付を並記することとした。これはかつて故緒方富雄先生が要請されたところでもある(本会会報5号・昭45)。(小曾戸洋)